

『斜面防災技術』

投稿・編集資料集

平成27年4月 版

一般社団法人 斜面防災対策技術協会

〒105-0004 東京都港区新橋6-12-7 (SDビル)

TEL 03-3438-0493 FAX 03-3438-0803

<http://www.jasdim.or.jp>

目 次

1. 投稿要領	1
2. 執筆要領	2
3. 投稿申込票	4
4. 「報 文」執筆にあたっての留意点	5
5. 「支部との座談会」開催にあたっての留意点	9
6. 「県との座談会」開催にあたっての留意点	11
7. 「技術資料」執筆にあたっての留意点	16
7.1 作成の手引き	16
7.2 原稿内容チェックリスト	17
7.3 「私の経験した現場」原稿記載要領	18
7.4 「わが社紹介」原稿記載要領	19
7.5 「フォアマンに学ぶ」原稿記載要領	20
8. 「書籍紹介」投稿要領	21

1. 投稿要領

(一社) 斜面防災対策技術協会 編集委員会

本会誌は、設立目的である斜面防災対策技術の向上と、その業の健全な発展、その事業の普及と促進、ならびに会員相互の親睦を図るため、情報や意見の発表交換の場として発行しています。報文や講座、会員各位の豊富な実績、あるいはご意見、質問、支部だよりなどの投稿をお願いします。

◇投稿資格 正会員、賛助会員、購読会員、および編集委員会から投稿をお願いした方

◇掲載ページ数（1号あたり下記のページ数とします。）

報文：2,300字10ページ以内（図版、表、写真を含む）

講座：2,300字10ページ以内（図版、表、写真を含む）

技術資料：2,300字 2または4ページ（図版、表、写真を含む）

ページ数の制限をこえた場合は筆者のご了解を得た上で、分割掲載することがあります。なお、原稿は原則として返却いたしません。図表、写真などで返却の必要のあるものは、投稿時にお申し出下さい。

◇パソコンを用いて原稿や挿入図・写真を作成する場合、ソフトは問いませんが、打ち出し原稿一部と同時に電子ファイル（CD-R等）も送付して下さい。電子ファイルはウイルスチェックを行うとともに、著者名・ファイル名・ソフト名などを記入したラベルを貼り付けて下さい。なお、CD-R等は返却いたしません。

◇投稿原稿の採否、掲載号などについては、編集委員会にご一任下さい。また、『斜面防災技術』では用語の統一を図っていますので、編集委員会に変更することがあります。図表につきましても同様に編集委員会で修正させていただく場合があります。ご承知おき下さい。

◇本文の章立てや、数式、図表、写真などの番号の付け方などについては、協会の執筆要領に従って下さい。執筆要領は協会ホームページをご覧ください（<http://www.jasdim.or.jp>）。

◇「フォアマンに学ぶ」、「私の経験した現場」、「わが社紹介」、「技術紹介」は「技術資料」として掲載しますので、会員各社からの積極的な投稿をお願いします。

◇掲載原稿については、薄謝を進呈いたします。

2. 執筆要領

(一社) 斜面防災対策技術協会 編集委員会

2.1 表題

表題はゴシック体とします。

副題はその前後にハイフンをつけて下さい。表題と副題とで2行とし、副題が長くなる場合は表題のすぐ後に続け、短い場合は2行目に書くものとします。

シリーズで出す場合は、表題の後に(その1)のようにつけて下さい。

2.2 章節項目等(章立て)につける番号

	全角	半角
章	1.	
節	—	1.1
項	—	(1)
目	—	1)

章・節題の次は、半行あるいは1行あけます。

ここまでは、章立て、数字とも**ゴシック体**を用います。なお、()は太くしないで下さい。

(i)

i)

文中の連番および箇条書きは丸数字①, ②, ③・・・・を用います。

2.3 本文

本文は明朝体、英数字は半角とします。必要に応じて本文の一部に強調文字、ゴシック体を用いても構いません。「文字飾り」は、アンダーライン可としますが、その他の例えば影付き、中抜きなどはいないで下さい。

単位や数式などに使用する固有の記号は、それを使用します。単位の表記はS I (国際単位系)とし、数式やS Iへの数字の丸め方は関連学会などの扱いに準拠して下さい。

読み方が難しい地名などには、ルビをつけて下さい。

2.4 図表・写真・数式の番号

図表・写真・数式の番号は、章毎に下記の例のようにつけます。なお、全文を通して図、表、写真とも少ない場合は、章別の番号ではなく、通し番号をつけて下さい。

例)

- ① 表：表が1章にある場合 「表1.1」から始めます。
- ② 図：図が1章にある場合 「図1.1」から始めます。
- ③ 写真：写真が第1章にある場合 「写真1.1」から始めます。
- ④ 数式：数式が1章にある場合 「《数式》……………(1.1)」から始めます。

2.5 句読点様式

句読点は「, 」と「。」の組み合わせを用いて下さい。

2.6 行頭, 行末処理

文章の出だしは章節項目のいずれも行頭, 行末を揃え, 字下げはしないで下さい。ただし, 改行毎に一文字下げて下さい (段落)。

箇条書きの場合等は, 必要に応じて字下げを行って下さい。

2.7 文末処理

文末に (完) または (つづく) を入れる場合は 1 行をそれにあて, 右寄せとします。

2.8 参考文献の記載

(1) 文中の記載

本文中に参考文献引用番号を記す場合は, 次のようにして下さい。

例)にも〇〇型³⁾の地すべりが発生している。

(2) 文末の参考文献記載

文末の参考文献リストの記載は, 次のようにして下さい。

番号) 著者名・著者名 (西暦年次) : 文献名, 雑誌名や出版社名, 巻数, 号数, 引用ページ

例)

5) 寺川俊浩・水谷宣明・西田彰一(1982) : 谷地地すべりー特に岩盤地すべり地における地下水の挙動, 地すべり, Vol. 19, No. 1, pp. 34-42.

2.9 投稿原稿添付図表・写真等についての注意事項

(1) 図表

図表はカラーでも可としますが, 清書やトレースを編集委員会では行いませんので, 印刷原稿としてそのまま使用できるものをお願いします。

図表に説明文などの手を加える必要がある場合は, 「書き込み用」と「製版用のきれいなもの」の 2 枚を用意して下さい。

- ・書き込み用には, 図面の説明文, 印刷の範囲, 凡例等の位置, 凡例の模様の変更, 図中に加える文字・記号, 変更する文字・記号などを朱書きして示して下さい。
- ・製版用は, 何も書き込まないで, できるだけ鮮明なものを提出して下さい。

(2) 写真

写真は, コピー (カラー, モノクロいずれも可) をとり, それらに写真番号, 表題を記したものを原稿と共に提出して下さい。

例)

写真1.1 〇〇地すべりの全景

写真1.2 〇〇地すべり対策工事概成後の全景

写真1.3 〇〇地すべり被害状況

写真台紙に張りつけるときは, セロテープなどが写真の表面にかからないよう注意して下さい。

(3) その他

図表, 写真等は厳選の上, お送り下さい。紙面の関係上, 本文の説明上欠かせぬものを除き, 削除する場合がありますので, ご承知下さい (この場合, 編集委員から著者へ確認連絡いたします)。

また, 『斜面防災技術』では用語の統一を図っていますので, 編集委員会で変更することがあります。図表につきましても同様に編集委員会で修正させていただく場合があります。ご承知おき下さい。

以上

3. 投稿申込票

		提出年月日		平成 年 月 日						
投稿区分		報文 講座 座談会 技術資料								
表題										
著者1	フリガナ 氏名			勤務先 所属					
	勤務先 住所	〒			電話					
	Eメール				Fax					
著者2	フリガナ 氏名			勤務先 所属					
	勤務先 住所	〒			電話					
	Eメール				Fax					
著者3	フリガナ 氏名			勤務先 所属					
	勤務先 住所	〒			電話					
	Eメール				Fax					
著者4	フリガナ 氏名			勤務先 所属					
	勤務先 住所	〒			電話					
	Eメール				Fax					
著者5	フリガナ 氏名			勤務先 所属					
	勤務先 住所	〒			電話					
	Eメール				Fax					
著者6	フリガナ 氏名			勤務先 所属					
	勤務先 住所	〒			電話					
	Eメール				Fax					
原稿 構成	本文	枚	図	図	表	表	写真	枚	別刷	不要 要部数(部)

注) 本表紙は、本文枚数には含みません。
 投稿区分は、該当するものに○印を付けて下さい。
 別刷は、30部(技術資料は10部)までは無料ですが、それを越える部数についてはご相談下さい。

4. 「報文」執筆にあたっての留意点

(一社) 斜面防災対策技術協会 編集委員会

4.1 報文の目的

報文は、各県の地すべり、がけ崩れ、雪崩を協会員の方々に紹介することを目的としています。

なお、ここでは「地すべり」の例を示しますが、「がけ崩れ」や「雪崩」の場合はこれに準じることとします。

4.2 章立て

章立ては、下記のようにお願いします。

第1章	1. はじめに（まえがき）
第2章	2. ○○県の地すべり
第1節	2.1 地形・地質
第2節	2.2 気象状況
第3節	2.3 地すべりの分布と特徴
第4節	2.4 事業費などの推移
第3章	3. ○○県の地すべり事例
第1節	3.1 △△地すべり
第2節	3.2 □□地すべり
第4章	4. おわりに（あとがき）

4.3 執筆担当者と分担

報文を執筆する方は、県の担当者(1～2名)と協会員(3～4名)とで構成して下さい。なるべく5名以内でお願いします。

執筆分担は、第1章・第2章・第4章を県の担当者、第3章を協会員が主体で執筆することを基本にお考え下さい。第3章の地すべり事例は、2例程度をお願いします。

なお、第4章に執筆分担者を記載するようお願いします。

4.4 参考文献の記載

参考文献の記載方法は、執筆要領にしたがって下さい。

4.5 原稿作成にあたっての留意点

本文、図表・写真等は以下の要領でお願いします。

(1) 本文

- ・本文は図表を含めて刷り上がり10ページ程度とします。
- ・刷り上り1ページの文字数は最大2,300字程度とし、図表のスペースを考慮して原稿を作成します。
- ・読み方が難しい地名などには、ルビをつけて下さい。
- ・パソコンで原稿・図・写真を作成する場合、ソフトの種類は問いませんが、打ち出し見本とともに電子ファイル(CD-R等)の送付もお願いします。その際、ウイルスチェックを行い、著者名・ファイル名・ソフト名を明記して下さい。

(2) 図表・写真

- ・第1章には、県全体の地すべり分布が分かる図面（見本図4-1）を添付して下さい。
- ・第3章では、写真1枚（見本図4-2）、各地すべりごとの平面図1葉（見本図4-3）、断面図1葉（見本図4-4）を添付して下さい。
- ・その他、必要な図を各章に配置して、わかりやすく構成して下さい。
- ・図表は原則としてそのまま使用可能なものとし、文字原稿とは別に用意して下さい。
- ・**トレース等が必要な場合**には、原稿作成時に行っておいて下さい。編集委員会では、原則として図のトレースは行いません。なお、図を編集委員会にて校正する場合がありますので、オリジナルファイルも可能であれば送付下さい。
- ・図表・写真には、必ずタイトルを入れて下さい。

例) **図3.1** ○○地すべり平面図

- ・平面図は縮小して掲載する場合がありますので、**標尺・方位**を図中に記入して下さい。
- ・断面図にも同様に**標尺（縦軸と横軸）**と**凡例**を必ず入れて下さい。
- ・図の凡例は、別紙で添付してもかまいません。
- ・図は縮小することがあります。大きな図の場合は、縮小に耐えられるものに限りです。
- ・写真は、鮮明なプリント、ネガかポジフィルムまたは高解像度の画像データ（JPEG形式）を用意して下さい。
- ・お送りいただいた図・表やネガ・ポジフィルムなどは、返却の要・不要を明記して下さい。

4.6 その他

- ・本文および図表については、編集委員会で修正する場合がありますのでご了承下さい。
- ・原稿について問い合わせをする場合がありますので、執筆者の氏名・所属・電話番号・ファックス番号・メールアドレス等を別紙（3. 投稿申込票）に記入の上、原稿と共に送付願います。
- ・記述上の注意事項は、別紙執筆要領をご参考下さい。
- ・図表等は、折り曲げずにお送り下さい。

なお、執筆の際は、同封の報文を参考として下さいますようお願いいたします。

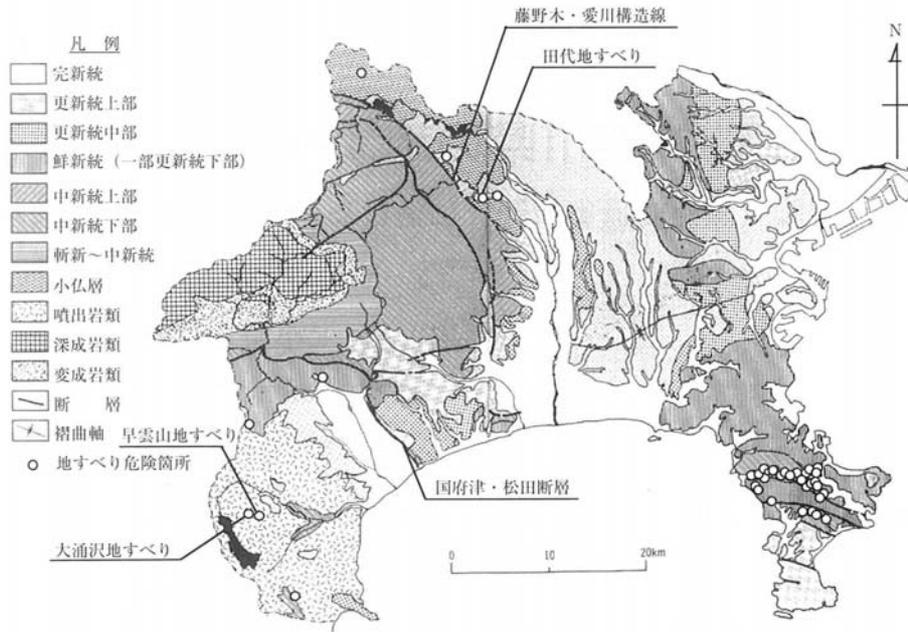


図 2.2 神奈川県地質図

見本図4-1 県の地すべり分布と地質図の例

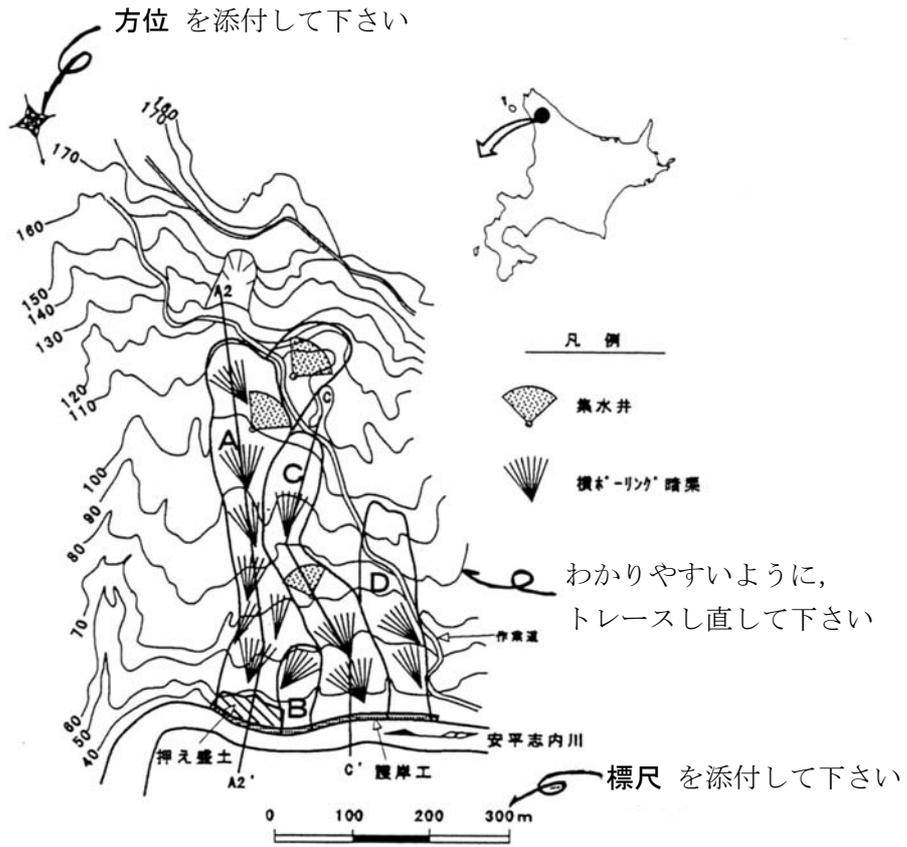


写真1 安平志内地すべり

A・Bブロック内の地すべりによって、安平志内川が曲がっている。

見本図4-2 カラー写真と解説の例

ブロック区分を分かりやすく白ペイントで簡潔に示している。
モノクロ写真の場合も判読しやすいよう色調に配慮して下さい。



見本図4-3 地すべり平面図の例

縮小してもわかるように文字を大きくして下さい

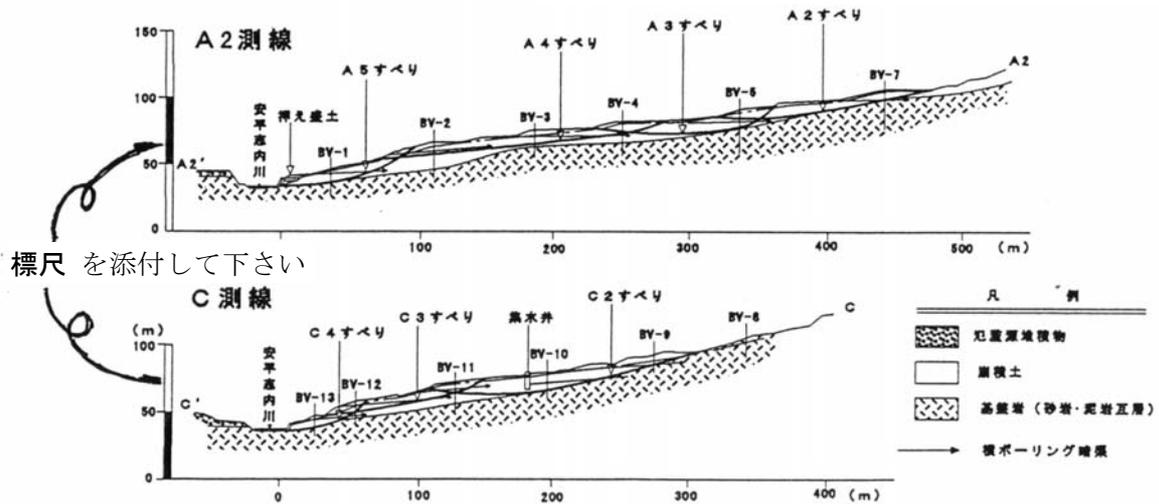


図3.1.2 安平志内地区地すべり断面図

見本図4-4 地すべり断面図の例

5. 「支部との座談会」開催にあたっての留意点

－「〇〇支部の活動状況と運営方針（仮称）」座談会次第一

（一社）斜面防災対策技術協会 編集委員会

この度の座談会開催につきましては、種々のご高配を賜り、深く感謝いたしております。

この座談会は「〇〇支部の活動状況と運営方針（仮称）」と題して貴支部の現在の活動状況、今後の運営、今後の支部のあり方と取り組みなどを紹介していただくことを目的としておりますが、限られた時間内で多くの内容をこなさなければなりませんので、あらかじめ、話題にするテーマの順番、それににかかる時間配分などを以下の様に設定させていただきました。

つきましては、一応、次のようなテーマとその順番、時間配分で進行させていただきたく、ご協力をお願いいたします。なお、本座談会に必要な資料は当日ご持参下さい。

座談会を始める前に、ご出席者の顔写真を撮影致します。

《座談会のテーマおよびその進行について(14:00から開始した場合)》

5.1 挨拶および出席者の紹介 (14:00～14:10)

支部長挨拶，出席者自己紹介，編集委員自己紹介

5.2 支部の範囲と地域的特徴 (14:10～14:35)

- (1) 支部の範囲
- (2) そのような範囲となった背景など
- (3) 支部全体を概観しての地形・地質的特徴
- (4) 地すべりの箇所数，事業費，全国的に見たランク

5.3 支部の会員数 (14:35～14:45)

現会員の紹介

会員数（地元には本社のある会員数，地元以外には本社のある会員数）

会員数の動向（年別の増加減少傾向）

賛助会員数

必要な資料 ・年度（時期）別の会員数の推移

5.4 支部の組織と予算 (14:45～14:50)

- (1) 支部の組織

支部長，副支部長，理事，監事の数

委員会等（総務委員会，広報委員会，技術委員会など）

- (2) 地域別の理事の選出と各理事の職務分担

必要な資料 ・支部の組織図

・職務分担

- (3) 支部の予算

予算のあらまし

予算の重点目標への投入（重点配分）

必要な資料 ・支部予算のあらまし

・支部予算のあらまし（平成△△年度支出予算案）

勘定科目	予算額	備考	勘定科目	予算額	備考
本部会費			事務費		
会議費			旅費交通費		
通信費			賛助費		
広告費			雑費予備費		
交際費			計		

・ 支部予算の使途

~~~~~コーヒーブレイク~~~~~

(14:50~15:00)

5.5 支部活動の実際 (15:00~15:10)

- ・ 支部行事
  - ・ 広報活動 協会誌の配布，地すべり防止工事士の活用
  - ・ 技術講習会 地すべり防止工事士の推移，その他の講習会等の行事
- 必要な資料 ・ 支部の地すべり防止工事士登録者数（推移も含めて）  
 参考資料 ・ 行事实績，計画等

5.6 会員数の確保 (15:10~15:25)

- ・ 支部活動の今後を踏まえた支部会員数の確保，拡大に関する意見

5.7 組織と予算の見直し (15:25~15:35)

- ・ 組織の構築に関する見直しを含めた意見
- ・ 重点施策への予算投入に関する見直しを含めた意見

5.8 支部のあり方と取り組み (15:35~15:45)

- ・ 今後の広報活動についての意見
- ・ 新時代に向けた技術講習会についての意見
- ・ 継続教育（CPD）についての意見

5.9 新技術の開発 (15:45~16:00)

- ・ 斜面防災技術の今後のあり方についての意見  
キーワード 少子高齢化，高度情報化，環境，国際化，砂防ボランティア
- ・ 斜面防災技術についての意見  
キーワード 予知，予測，予防，ハザードマップ，ソフト技術の拡大，情報公開
- ・ 土砂災害防止法に対応した技術開発に関する意見

5.10 本部への要望 (16:00~16:20)

- キーワード CPD，海外研修，海外発表

## 6. 「県との座談会」開催にあたっての留意点

### －「〇〇県の斜面防災を語る」座談会次第（案）－

（一社）斜面防災対策技術協会 編集委員会

この度の座談会の開催につきましては種々ご高配を賜り、深く感謝いたしております。

この座談会は「〇〇県の斜面防災を語る」と題して貴県の地すべりに対する全般的な取り組みと、代表的な事例を紹介していただくことを目的としておりますが、限られた時間内で多くの内容をこなさなければなりませんので、あらかじめ、話題にするテーマの順番、それにかかる時間配分などを設定させていただきました。

つきましては、一応、次のようなテーマとその順番、時間配分で進行させていただきたく、ご協力をお願いいたします。

なお、座談会には当協会の支部役員も同席させていただきますが、ご協議の上座談会に使用する資料のご用意をお願いいたします。

#### ◎事前にご用意いただく資料

- ・出席者名
- ・各章毎に、お話しいただく内容をA4版またはA3版（図表を含む）でとりまとめたもの

#### ◎当日ご持参いただく資料

- ・図表の原紙、写真

また、当日会場で、ご出席者の顔写真並びに座談会風景を撮影いたします。

#### 《座談会のテーマおよびその進行について(14:00から開始した場合)》

ここでは、県の地すべりを例として説明します。

#### (その1)

県の地すべりの概要や箇所数・予算についてお話をいただきます。

#### 6.1 挨拶と出席者の紹介…………… (14:00)

- (1) はじめに
- (2) 支部長の挨拶
- (3) 課長のご挨拶と出席者のご紹介
- (4) 協会支部の出席者の紹介と編集委員の紹介

#### 6.2 当県の地すべりの概要…………… (14:15)

##### (1) 地形的特性と気象（地勢）…………… (14:15)

- 1) 貴県の位置づけ
- 2) 県の面積・人口・市町村数などについて
- 3) 主な地形状況（山系、水系等）について

##### ○必要な図表

- ・地勢図（山系・水系・平野・盆地名 etc）

##### ○関連する図表

- ・主な山岳
- ・主要な河川

・水系別流域面積

4) 地質概要について

- ① 基盤岩と新第三紀層の分布状況
- ② 第四紀層と火山帯などの発達について
- ③ 地質構造の概観について（断層や褶曲など）

○必要な図表

- ・地質図
- ・地質層序

○関連する図表

- ・地質構造図 -主要な断層・破砕帯- , または地質構造概念図
- ・主要な断層・破砕帯一覧

5) 気象的特性（降水量, 気温）について

○必要な図表

- ・（地域別の）月平均降水量（積雪量）及び月平均気温

○関連する図表

- ・降雨量分布図

(2) 地すべりの分布と特性…………… (14:30)

- ① 地すべり多発地帯について
- ② 地すべり斜面の主な勾配について
- ③ 地すべり状況と地すべり分布の特性について
- ④ 地すべりの発生時期について
- ⑤ 地すべり面の深度と地下水位について
- ⑥ 地すべりの運動形態について
- ⑦ その他, 貴県における地すべりの特徴について（自動観測, 技術テーマなど）

○関連する図表

- ・地すべり地の地域別分布
- ・地質と地すべりの分布特性

(3) 地すべり箇所数と面積…………… (15:00)

- ① 所管別の（国土交通省・林野庁・農村振興局）の地すべり危険箇所数と面積
- ② 所管別の指定箇所数と面積
- ③ 危険箇所と指定箇所の割合について
- ④ 危険箇所の分布状況について
- ⑤ 貴所管における最近の指定状況について

○必要な図表

- ・所管別の地すべり危険箇所・指定箇所数とその面積並びに割合
- ・地すべり分布図（所管別）

○関連する図表

- ・地域別の地すべり危険箇所・指定箇所数とその面積並びに割合
- ・地すべり防止区域の経年変化

(4) 地すべり関係の予算…………… (15:10)

- ① 地すべり対策事業予算の変遷について
- ② 今年度の事業予算について
- ③ 事業費における調査と対策の比率について
- ④ 最近5ヶ年の地すべり災害と対策費（予算）について
- ⑤ 予算の特異性について

○必要な図表

- ・ 年度別地すべり対策事業投資額（地すべり対策事業予算の変遷）
- ・ 当年度地すべり関連事業予算
- ・ 災害関連緊急地すべり対策事業実施箇所並びに事業費

○関連する図表

- ・ 年度別事業費における調査費と対策費の比率
- ・ 地域別危険箇所数と事業費
- ・ 地すべり防止施設（地域別）の現況

**(その2)**

県の代表的な地すべり1～2箇所の紹介をいただきます。

◎口絵写真の主要な候補です。地すべりの全体像が判るカラー写真を数枚お願いいたします。

6.3 代表的な地すべりの例…………… (15:20)

(1) 代表的地すべりの紹介…………… (15:20)

(2) 地すべりの概要…………… (15:25)

- ① 代表的地すべりの位置
- ② 発生の経過と変遷について
- ③ 地すべりの規模と被害状況について

○必要な図表

- ・ 地すべり位置図（県の地すべり分布図に位置を記入）
- ・ 地すべり案内図（5万分の1 或いは2. 5万分の1に区域を記入）
- ・ 地すべり概要
- ・ 地すべりの変遷（災害経歴）

○必要な写真

- ・ 被害記録写真

(3) 地すべりの調査と設計…………… (15:30)

- ① 地形概要について（面積，勾配，ブロック区分など）
- ② 地質状況について
- ③ 地すべり面の深さについて
- ④ 降水量と地下水位について
- ⑤ 移動量と運動形態について
- ⑥ 地すべり機構について（素因，誘因など）
- ⑦ 防止工事の設計について（基本的な考え方）

○必要な図表

- ・地すべり平面図並びにブロック区分図
- ・地すべり地地質平面図
- ・地すべり地区の地質層序
- ・地すべり地地質断面図または解析断面図
- ・地下水位変動・移動観測結果等，調査結果解析図表

○関連する図表

- ・調査数量（年度別）一覧表

(4) 防止工事について…………… (15:45)

- ① 防止工事の変遷について
- ② 主な防止工事の工種について
- ③ 工事効果について

○必要な図表

- ・対策工（年度・期間別，ブロック別）一覧
- ・効果判定結果図表

○関連する図表

- ・対策工位置図
- ・対策工事の流れ図

○必要な写真

- ・対策工記録写真

(5) 今後の予定…………… (15:55)

- ① 今後の調査・工事などの計画について
- ② その他（特異な調査、対策工事例など）

6.4 おわりに…………… (16:00)

編集委員長挨拶

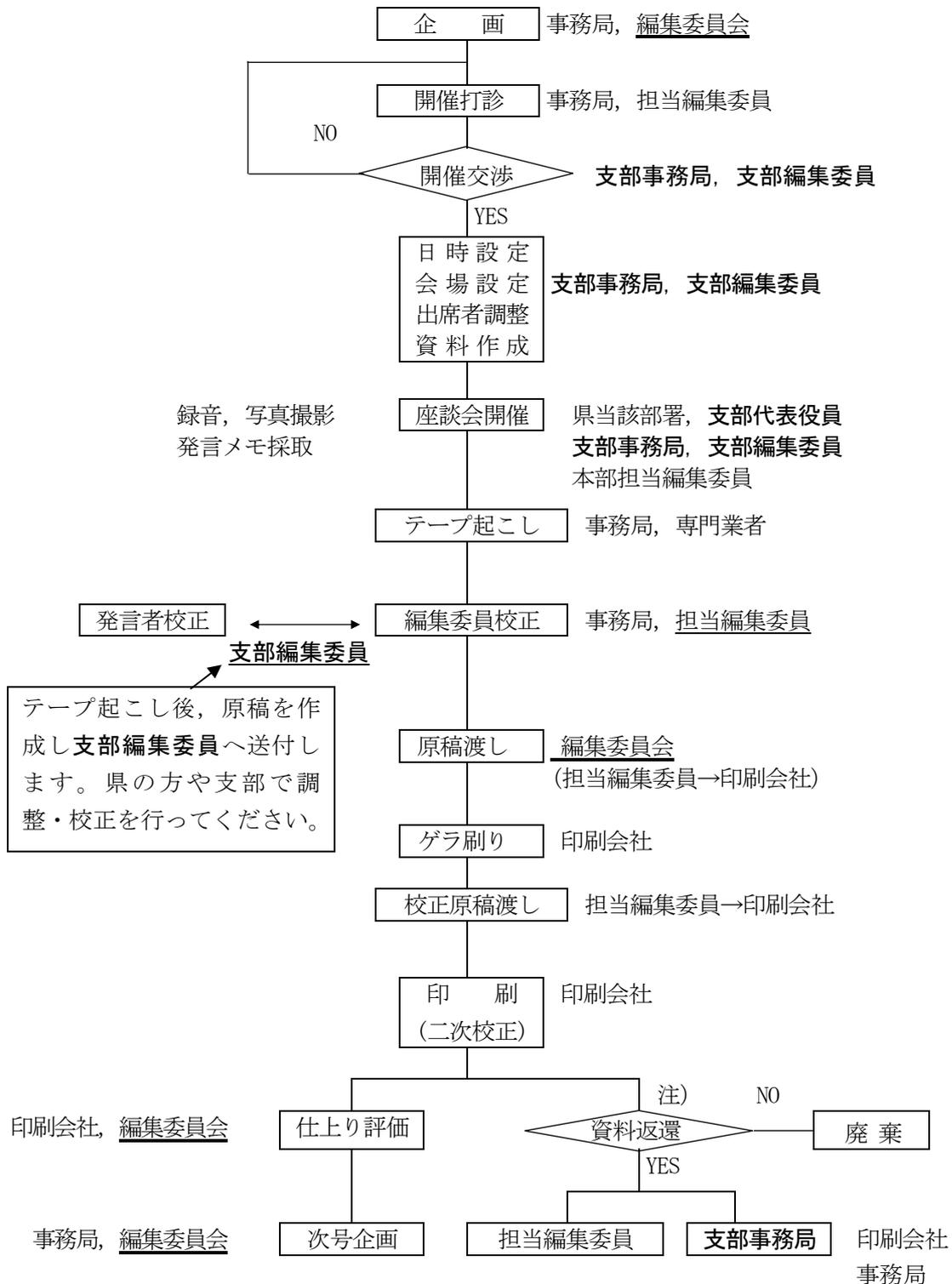
その他

図表，特に図面についてのお願い

- ・図面には，必ず凡例，方位（平面図），標尺（バースケール）を記入して下さい。
- ・図面は縮小することがありますので，可能な限りシンプルで，縮小に耐えられるものをご用意下さい。

# 「斜面防災技術」座談会から印刷までの流れ図

(支部事務局・支部編集委員のかかわり)



注) 写真類, パンフレット類, その他の資料等で返却の約束のあるものは, 特別のルートから借用したものはそのルートを経て返却することを原則とします。なお, 返却を事務局に依頼した場合はこの限りではありません。

## 7. 「技術資料」執筆にあたっての留意点

(一社) 斜面防災対策技術協会 編集委員会

### 7.1 作成の手引き

技術資料「フォアマンに学ぶ」, 「私の経験した現場」, 「わが社紹介」, の投稿にあたっては, 以下の事項に留意して下さい。また, 「新技術紹介」についても同様をお願いします。

#### (1) 本文

本文は図表を含めて刷り上がり2ページまたは4ページで作成して下さい。刷り上がり1ページ目の文字数は1,700字程度, 2ページ目以降は最大2,300字程度です。図表のスペースを考慮して執筆願います。また, 読み方が難しい地名などには, ルビをつけて下さい。

パソコンを用いて原稿・挿入図・写真を作成する場合, ソフトは問いませんが, 打ち出し見本とともに電子ファイル (CD-R等) を送付願います。その際, ウイルスチェックを行い, 著者名・ファイル名・ソフト名を明記したラベルを貼付して下さい。

#### (2) 図・表・写真

図表は原則としてそのまま使用可能なものとして, 文字原稿とは別に用意して下さい。トレース等が必要な場合には, 原稿作成時に行っておいて下さい。編集委員会では, 原則として図のトレースは行いません。

図・表・写真には, 必ずタイトルを入れて下さい。平面図には標尺 (縮小されることがあります) ・方位と凡例を, 断面図には標尺と凡例を必ず入れて下さい。凡例は, 別紙で添付してもかまいません。図は縮小されることがあります。大きな図の場合は, 縮小に耐えられるものに限りです。

写真は, 鮮明なプリント, ネガかポジフィルムまたは高解像度の画像データ (JPEG形式) を用意して下さい。

お送りいただいた図・表やネガ・ポジフィルムなどは, 返却の要・不要を明記して下さい。

#### (3) その他

原稿についての問い合わせのため, 執筆者の氏名・所属・電話番号・ファックス番号などを別紙**(3. 投稿申込票)**にご記入し, 合わせてご送付下さい。

記述上の注意事項は, 別紙「斜面防災技術」執筆要領を参考にして下さい。また, チェックリスト (7.2参照) に沿って原稿内容を確認して下さい。

なお, 図表等は, 折り曲げずに送付して下さい。

※ 原稿の校正段階で, 刷り上り原稿に余白ができた場合は, 写真・図等を追加でお願いする場合があります。

## 7.2 原稿内容チェックリスト

| 項 目 |        | 結果                                   |  |
|-----|--------|--------------------------------------|--|
| 1   | 本 文    | ① 執筆要領に基づいていますか                      |  |
|     |        | ② 「技術資料」執筆にあたっての留意点に基づいていますか         |  |
|     |        | ③ パソコンで作成した場合は媒体にファイル名ソフト名などを記入しましたか |  |
|     |        | ④ 難読な固有名詞にルビは入っていますか                 |  |
|     |        | ⑤ 誤字・脱字はありませんか                       |  |
| 2   | 図・表・写真 | ① タイトルが入っていますか                       |  |
|     |        | ② 図には標尺・方位・単位が入っていますか                |  |
|     |        | ③ 凡例が入っていますか                         |  |
|     |        | ④ 図は縮小にたえられるものになっていますか               |  |
|     |        | ⑤ 説明文がありますか                          |  |
|     |        | ⑥ 番号は合っていますか                         |  |
|     |        | ⑦ 写真は鮮明ですか（ネガ・ポジフィルムを用意しても可）         |  |
|     |        | ⑧ 大きさは適当ですか                          |  |
| 3   | 用語・単位  | ① 用語は統一されていますか                       |  |
|     |        | ② 単位は国際単位系（S I）の表記となっていますか           |  |
| 4   | 商業宣伝   | ③ 難解用語・記号に説明はありますか                   |  |
|     |        | ① 過度のPRになっていませんか                     |  |
| 5   | 発注者    | ① 発注者の許可はとられていますか                    |  |
|     |        | ② 掲載しても問題のない内容になっていますか               |  |
| 6   | その他    | ③ あとがきに発注者に対する謝辞は入っていますか             |  |
|     |        | ① 執筆者の氏名・部署・電話番号などを別紙に記入しましたか        |  |
|     |        |                                      |  |

## 7.3 「私の経験した現場」原稿記載要領

(頁数を2ページとして)

ここでは「地すべり」の例を示しますが、「がけ崩れ」や「雪崩」の場合はこれに準じることとします。

なお、(1)はじめにと(4)おわりには「ですます調」、その他は「である調」で記載することとします。

### (1) はじめに

入社以来〇〇年、△△県××地すべりをはじめとして主に、〇〇を担当してきました。

この間、特に印象に残っている△△地すべりについて報告します。

△△地すべりは・・・・・・に位置し、・・・・・・が近くにあり・・・・・・が有名な地です。

この△△地すべりで私は主に・・・・・・といった事に従事しましたが、・・・・・・のうちの・・・・・・について紹介します。

- ※ ・入社以来の経歴の紹介
- ・現場の位置、周辺状況の紹介等
- ・600字程度 (1/4ページ)

### (2) △△地区の概要

△△地すべりは〇年〇月〇日に・・・・・・を誘因として、規模・・・・・・程度の地すべりが発生した。応急対策として・・・・・・が施工された。

地すべりは図、表、写真―〇に示すように・・・・・・状地形を呈し、××時代の〇〇層に挟在する・・・・・・層をすべり面とした・・・・・・である。

- ※ ・地すべりの概要の紹介
- ・地形・地質の紹介 (地質平面、ブロック、地質断面)
- ・図、表、写真を入れて約1,200字程度 (1/2ページ分)

### (3) 地すべり工事 (調査、計測) の紹介

工事 (調査、計測) は主に・・・・・・を用いた・・・・・・で行った。工事の結果・・・・・・となった。

(あるいは調査、計測の結果、図、表―〇に示すように・・・・・・が判明した。・・・・・・等、不明 (不備) な点があったものの、現在では・・・・・・となっている。

- ※ ・担当した部分における工事・調査等の紹介
- ・苦労したこと、工夫したこと、発見したことの紹介
- ・図、表、写真を入れて約1,200～1,800字程度 (1/2～3/4ページ分)

### (4) おわりに

この△△地すべりで〇〇担当として従事しましたが、・・・・・・ということがわかりました。その後・・・・・・等により・・・・・・現在・・・・・・となっています。

今、私は・・・・・・を教訓として・・・・・・しています。

最後になりましたが、〇〇県△△課の皆様には、貴重なご指導とご助言を頂きました。ここに記してお礼申し上げます。

- ※ ・現場を通して収穫できたことの紹介
- ・問題、課題となったことの紹介
- ・その後の現場の紹介
- ・発注者に対する謝辞を忘れずに入れて下さい
- ・600字～1,200字程度 (1/4～1/2ページ分)

## 7.4 「わが社紹介」原稿記載要領

(頁数2ページとして)

「わが社紹介」の文章は、「ですます調」で記載することとします。

### (1) わが社のおいたち(変遷)

わが社は昭和〇〇年〇月に〇〇会社として創立されました。創立当時はわずか〇名で……のほとりの……に事務所を構えスタートしました。主に、××調査、△△工事等を行っていましたが、〇〇年に××の地へ現在の事務所を取得移転しました。(写真-〇)

この地は……で……が特産(有名)であります。

現在に至るまで……等の変遷を経て、現在当社は資本金〇〇で、従業員〇〇名に増え、主に……に関連した業務を行っています。

わが社は今までの……を利用して……の工事(調査、計測等)を得意としています。

- ※ ・会社のおいたち、経緯等の紹介
- ・資本金、従業員数、業務内容、得意な業務内容等の紹介
- ・会社全景写真等を含めて1,800~2,300字程度(3/4~1ページ分)

### (2) 最近の工事(調査、計測、製品)の紹介等

前ページ「私の経験した現場」原稿記載要領の

2. △△地区の概要
3. 〇〇工事(調査、計測)の紹介

を取りまとめて紹介する。

- ※ 発注者に対する謝辞を忘れずに入れて下さい
- ※ 図、表、写真を入れて約2,300字程度(1ページ分)

### (3) おわりに

今後の展望や謝辞などを記載して下さい。

### (4) その他

欄外の脚注に会社名と連絡先が入ります。

- ※ 会社の全景写真を必ず入れて下さい。

## 7.5 「フォアマンに学ぶ」原稿記載要領

(頁数2ページとして)

(1)はじめにと(3)おわりには「ですます調」, (2)事例紹介は「である調」で記載することとします。

### (1) はじめに

私は平成〇〇年に当社に入社し、××年になります。入社当初は・・・・・・工事(調査)の手伝いなどでしたが、その後・・・・・・等に従事し、・・・・・・を経て、現在は主に・・・・・・を行っています。

わが社は・・・・・・が得意で、・・・・・・工事(調査)が主体ですが、このうち△△地すべり工事(調査)での体験談(苦労話)についてお話しします。

- ※ ・入社からの経歴等の紹介
- ・会社の概要の紹介を加えても可(「わが社紹介」を参照)
- ・600字程度(1/4ページ分)

### (2) 事例紹介

〇〇県××地すべりの工事(調査)の△△担当として従事することになった。現場は・・・・・・で、今にも・・・・・・の状況であった。

工事(調査)は〇〇に示すように、・・・・・・を主体とした××工事(調査)であった。

このため、工事(調査)に当っては私は・・・・・・等に充分注意するとともに、・・・・・・に関しては、特に写真に示すように〇〇を工夫することにより安全管理を行った。

この工事(調査)中に・・・・・・が発生し、・・・・・・などの失敗もしたが、・・・・・・等の対策を行いながらも無事工事(調査)を完了することができた。

- ※ ・担当した部分の工事(調査)の紹介
- ・安全管理, 工夫したこと, 苦労したこと, 発見したこと等の紹介
- ・写真, 図, 表を入れて3,500字程度(1.5ページ分)

### (3) おわりに

この△△地すべり現場で・・・・・・を改良したら・・・・・・であったと思われます。

また、・・・・・・を工夫したらさらに工期を短縮できたと思われます。

現在、△△地すべりは・・・・・・の状況下であり、・・・・・・となっています。

最後になりましたが、〇〇県△△課の皆様には、貴重なご指導とご助言を頂きました。ここに記してお礼申し上げます。

- ※ ・その現場をふり返って思うこと, 反省点等の紹介
- ・現場のその後の紹介
- ・現場を通しての悩みごとの紹介
- ・協会誌に対しての要望事項の紹介等
- ・発注者に対する謝辞を忘れずに入れて下さい
- ・600字程度(1/4ページ)

